

一般社団法人日本内視鏡外科学会

2013 年度（自 2012 年 10 月 1 日 至 2013 年 9 月 30 日）第 1 回理事会議事録

会員各位

日本内視鏡外科学会

- ☐開催日時 2013 年 4 月 8 日（月）15：00～18：00
- ☐開催場所 トラストシティカンファレンス 丸の内 Room 2
- ☐理事総数 20 名
- ☐監事総数 4 名
- ☐出席理事数 20 名
- ☐出席監事数 3 名

☐出席理事の氏名

北野正剛（理事長）、渡邊昌彦（副理事長）、岩崎昭憲、岩中 督、大貫恭正、小澤壯治、黒川良望、坂井義治、塩田 充、堤 治、出沢 明、寺地敏郎、徳村弘実、橋爪 誠、万代恭嗣、松田公志、森 俊幸、森川利昭、山下裕一、若林 剛

☐出席監事の氏名

大橋秀一、木村泰三、松本純夫

☐出席幹事の氏名

佐々木章

☐議長の氏名

北野正剛

☐決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名

該当する理事はいない

☐議事の経過の要領及びその結果

以下の通りである。

＊

定刻に至り、北野正剛理事長より、理事会の定款所定数を満たしたので有効に成立した旨が宣され、議事が開始された。

1. 前回議事録の確認が行われた。

2. 報告事項

1) 編集委員会（北野正剛編集主幹）

(1) 日本内視鏡外科学会雑誌

- ・ 2012 年 1 月から 12 月の投稿論文について報告された。
- ・ 投稿規程の改正について、COI 事項の規定等を追加し 4 月 1 日より施行していることが報告

された。

(2) Asian Journal of Endoscopic Surgery

- ・ASES について、日本からの投稿が多い傾向ではあるが、外国からの投稿も増えてきていることが報告された。また、インパクトファクター取得に向け、分野別の投稿状況を調べることとなった。
- ・ASES 編集委員について検討予定であることが報告された。

2) 総務委員会 (若林剛委員長)

- ・会員数が 10,367 名であることが報告された。
- ・2012 年 10 月 1 日～2013 年 3 月 30 日までの新規入会者および物故者が報告された。

3) 教育委員会 (黒川良望委員長)

- ・2013 年内視鏡下縫合・結紮手技講習会のスケジュールが報告された (全 12 回)。
- ・新たに Advanced MIS 研究会と埼玉県腹腔鏡下大腸切除懇話会を公認研究会として認めたことが報告された。
- ・新たに、22 の講習会を後援講習会として認めたことが報告された。
- ・用語集改訂委員会の委員を再構成したこと及び、就任予定の委員名が報告された。
- ・「動物実験」という表記は「アニマルラボ」へ変更する。

4) 学術委員会 (山下裕一委員長)

- ・NCD データを利用した研究課題について評議員へ公募したところ 1 件の申請があったことが報告され、日本内視鏡外科学会の研究課題として日本消化器外科学会へ提出することが承認された。

【研究課題名】 胃癌への腹腔鏡下胃切除術に関する多施設共同前向きコホート研究

【研究代表者】 比企 直樹氏 (腹腔鏡下胃切除術研究会)

- ・研究費については詳細不明のため、今後検討することとなった。

5) 保険委員会 (岩中督委員長)

- ・外保連への要望項目についての報告がなされた。
- ・次年度が大改定の年であること、外保連試案に掲載されていない内視鏡に関する術式については一括申請を行う予定であることが報告された。

6) 広報委員会 (出沢明委員長)

- ・学会 HP のトップの画像について、新規の応募があり変更したことが報告された。
- ・NL の発行月が 3 月、7 月、11 月へ変更となったことが報告された。
- ・学会 HP へのお知らせ掲載希望やリンク設置希望があった場合に、申請書をもとに審議する運用を開始したことが報告された。

7) ガイドライン委員会 (坂井義治委員長)

- ・乳腺甲状腺領域の幹事委員について、清水一雄委員から池田佳史委員へ変更となったことが報告された。

- ・ CQ の掲載形式について報告された。
- ・ 日本小児外科学会より、小児外科領域のガイドラインを閲覧できるようにしてほしいとの依頼があったことが報告され、検討の結果、閲覧できるようにすることが認められた。金原出版で出版した場合は、日本小児外科学会・金原出版・日本内視鏡外科学会の3者にて覚書を交わす必要がある等の確認がなされ、閲覧方法は今後検討していくこととなった。

8) 第三者評価委員会（岩中督委員長）／倫理渉外委員会報告（堤治委員長）

- ・ 第三者評価委員について、平尾佳彦委員から藤澤正人委員へ交代となったことが報告された。
- ・ 消化器・一般外科領域、小児外科領域、整形外科領域について、日本内視鏡外科学会として裁判所鑑定人リストを作成中であることが報告された。
- ・ 日本内視鏡外科学会へ鑑定人推薦の依頼があった場合は、倫理渉外委員長の判断で鑑定人を指名することが承認された。
- ・ 泌尿器科領域に関しては日本泌尿器内視鏡学会へ照会すること、産科婦人科領域については日本産科婦人科内視鏡学会へ照会することが承認された。

9) 国際委員会（万代恭嗣委員長）

- ・ 国際名誉会員に関する細則の修正案が報告され承認された。
- ・ IFSES について、2013 年の会費納入が完了していること、2012 年 10 月の理事会議事録および 2013 年 4 月の理事会議事次第が報告された。
- ・ World Congress of Endoscopic Surgery 2014 は 2014 年 6 月 25 日～28 日に開催されることが報告された。
- ・ IFSES 理事会において、世界大会を開催する傘下学会は、総収入の 5% を IFSES に納入するとの追記を盛り込んだ、規約（by laws）改正が検討中であることが示された。

10) COI 委員会（森川利昭委員長）

- ・ 本年 4 月 1 日より学会雑誌および役員等の自己申告についての利益相反に関する運用が開始されたこと、学術集会については第 26 回日本内視鏡外科学会総会より運用開始となることが報告された。

11) 医工学連携委員会（森川利昭委員長）

- ・ ホームページに医療ニーズと企業シーズをまとめたページを作成中であることが報告された。
- ・ 日本医工ものづくりコモンズと連携していく。
- ・ 松本純夫顧問および中島清一委員が新たに就任されたことが報告された。

12) メディカルチーム検討委員会（岩崎昭憲委員長）

- ・ メディカルスタッフマニュアルの販売価格について検討されたが、販売はせずに、メディカルスタッフが学術集会に参加した際に参加費と引き換えて渡すこととなった。学術集会への参加を促す。
- ・ 電子化は引き続き検討することとなった。

13) 技術認定制度委員会（松田公志委員長）

- ・消化器外科領域の合格者について承認された。
- ・小児外科領域の合格者について承認された。また、小児外科領域の申請書式改訂および本年より開始される更新申請の手引き・申請書式が承認された。
- ・泌尿器科領域、産科婦人科領域の合格者について、承認された。
- ・泌尿器科領域、産科婦人科領域、整形外科領域の申請については、理事会通信審議による承認も行っていくこととなった。
- ・消化器・一般外科領域の審査委員の変更が承認された。
- ・外国人医師を対象とする内視鏡手術技術審査については、日本語版・英語版の内容を精査した上で、次回理事会にて審議することとなった。
- ・技術認定制度規則第24条の「判定結果は、制度委員会をへて、理事会に報告される。」の「報告」は、承認と改めることとなった。
- ・患者様承諾に関する書式の表現を変更することとなった。

14) E ラーニング検討委員会（大貫恭正委員長）

- ・公認研究会への E ラーニングに関するアンケート結果が報告された。
- ・本学会として E ラーニングのプラットフォームを作成し、公認研究会等へ場所を提供するという意見が出された。この場合、コンテンツの責任は制作者が担うこととする。
- ・コンテンツ掲載の費用としては、年間 3～5 万円程度とする案が出された。
- ・掲載する内容を審査する必要があることが確認され、E ラーニング検討委員会で審査するか等は今後検討していくこととなった。

15) 将来構想委員会（寺地敏郎委員長）

- ・会費納入の促進のため、学会ホームページのトップにバナーを設置することとなった。

16) ロボット支援手術検討委員会（橋爪誠担当理事）

- ・ロボット支援手術に関するアンケートを実施中であることが報告された。
- ・前向き調査について、プロトコルの作成の基本方針を検討中であることが報告された。
- ・新たに、寺地敏郎委員、板東登志雄委員、家入里志委員、花井恒一委員が就任したことが報告された。

17) 評議員選考委員会（塩田充委員長）

- ・6月30日までを期限に、評議員申請を受け付け中であることが報告された。
- ・2010年、2011年、2012年の社員総会3回連続欠席者について、法人化後初の資格更新となるため、今回に限り資格継続を認めることとなった。
- ・2013年の社員総会より、新たに出席回数の管理を行うこととなった。
- ・社員総会の欠席について、やむを得ない事情があった場合は、評議員選考委員会にて検討することが承認された。なお、やむを得ない事情とは、病気等を除き、本務に関わるものと解釈する。
- ・委任状には委任状出席と議決権行使の2つの意味合いがあり得るが、本学会では資格更新に必要な出席については、委任状を含めないこととなった。

18) 専門医制度検討委員会（渡邊昌彦委員長）

- ・今回は特段の報告事項はないことが報告された。

19) 大上賞選考委員会（渡邊昌彦委員長）

- ・各委員より 8 月頃までに推薦いただく予定であることが報告された。

20) 第 26 回総会（山下裕一会長）

- ・会長招宴にて、5,000 円の会費負担をお願いすることとなった旨が報告された。
- ・日程について、3 日間すべてを総会プログラムとして使用し、前日に理事会を開催する予定であることが報告された。
- ・ロボット手術については、「ロボット支援手術」へと表記を統一することとなった。

21) 第 27 回総会（若林剛次期会長）

- ・日本胸部外科学会との開催日の重複について、現在プログラムの調整を行っていることが報告された。
- ・総会後に開催される第 2 回腹腔鏡下肝切除術国際コンセンサス会議について、日本内視鏡外科学会で後援することが承認された。
- ・佐々木章事務局長が紹介された。

22) 第 28 回総会（松田公志次々期会長）

- ・権雅憲第 28 回副会長の就任が報告された。

23) 日本医学会等（北野正剛担当評議員）

- ・第 28 回国際コンピュータ支援放射線医学・外科学会議について、日本内視鏡外科学会で後援することが報告された。
- ・臨床工学技士会と面談をしたことおよび日本内視鏡外科学会理事長として外部役員に就任することが報告された。
- ・日本医学会の一般社団法人化に伴う負担金の案が確認され、承認された。

3. 審議事項

1) 財務委員会（小澤壯治委員長）

- ・補正予算が承認された。

2) 規約委員会（徳村弘実委員長）

- ・委員報酬について、既に報酬支払実績のある委員会については継続して提出することとする。新たに報酬支払を希望する委員会については申請書の提出を求め、申請を受けて理事会で審議することとなった。
- ・社員総会運営規則（案）が報告され、評議員代理人の出席に関する第 7 条について再度検討することとなった。
- ・役員選出規則について、委員会での検討結果が報告され、役員選考委員会を設け、検討していく方針となった。

3) 第 29 回総会会長について

- ・渡邊昌彦副理事長の就任が承認された.
- ・2016 年 12 月第 1 週にパシフィコ横浜で開催することを検討中であることが報告された.

4) 伊藤賞選考委員長について

- ・森俊幸理事が委員長として就任することが承認された.

4. その他

- ・「日本内視鏡外科学会（JSES）の内視鏡手術支援ロボット手術導入に関する提言」の解釈について、販売会社の認識が適当でない事例が報告され、正していくことが確認された.

以上